令和８年度　常盤平団地地区意見交換会のテーマについて

（団 体 名）　常盤平団地自治会

（件　　名）　自治会・町会活動への市の協力について

（具体内容）

現在の自治会・町会はいずれも高齢化が進み、役員などの次世代の成り手が少なく、役員の人数も減少しています。将来のことを考えると、役員不足により今行っている自治会・町会のイベントが出来なくなるのではと不安が尽きません。

そのなかで、一時的に学生のボランティアを募集しイベント準備や当日のサポートを手伝っていただくことはありますが、長期間に渡り安定した形で頼めるものではありません。

そこで、松戸市が主体となってイベント等の自治会・町会活動に携わるボランティアを常時派遣できる仕組みなどをご検討いただけないものでしょうか。

役員の成り手が少ない中、自治会・町会が独自・自力で出来ないことは歯がゆい限りですが、各地区のイベントや行事の開催を途切れさせないために、ぜひ検討をお願いします。

（回　　答）

- 現在、町会・自治会等の活動において担い手不足が全国的な課題となっている中、イベントの際のボランティアによる人員の補強は、担い手不足に対応する一つの方法であると考えております。
- 現在、常盤平団地自治会では、イベント開催時に市内の高校や大学から学生ボランティアのご協力をいただいていると伺っております。市が次世代の担い手育成のため取り組んでいるボランティア体験講座「Let`s 体験!!」における実地体験先としてもご協力いただいており、ぜひこの大切な協力関係を今後も続けていただければと存じます。
  市としても、地域の担い手育成事業である「まつど地域活躍塾」の実施も含め、引き続き、若年層を含む幅広い世代の方に対し町会・自治会活動のＰＲを実施してまいります。
- ボランティアを常時派遣できる仕組みづくりのご提案につきましては、ボランティア活動がその性質上任意であるため、毎回必ず確保するといった仕組みづくりの構築は容易ではないと思慮されます。
- 町会・自治会の人材不足は課題ではありますが、今後も市は、町会・自治会に寄り添い、皆様と連携・協力してともに問題解決に取組んでまいりたいと考えております。

（回 答 課）市民自治課